



NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2016 年 9 月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

28年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
9月	4日生き物観察(スイカもあるよ) 6日シニヤ共助担い手塾 10:30 (市民文化センター小ホール)	17日(土) 定期保全	10日富澤湧水保全 14日県白子湧水調べ 21日大坂保全	
10月	25日(火)コープみらい和光地区 湧き水観察会 11月上旬:バス研修会予定 長瀬と粥新田峠散策(景観が良い)	15日(土) 定期保全	8日富澤湧水保全 19日大坂保全	10月末:昆虫さがし森あそび

初任者教師研修会・白子湧水群から中央公民館まで実地研修および講義

今年で4回目の夏休みの大切な研修会“初任者教員研修会”が8月8日に行われました。高橋勝緒さんが講師として「和光市の自然環境」を講義、これに先立ち現地見学会を設け「実地研修及び講義」の両面で都市部の自然の重要性を知ってもらう企画です。下新倉小学校が本年開校したことで、21名もの新任の先生がご参加下さいました。

学校教育課担当の船越先生と市内の小中学校の先生方が、白子コミセン前に8時半集合し「夏の研修会」がスタートしました。今年作成中の「和光市自然環境マップ」を先生方に披露し、活用を試みました。今後学校教育で有効利用が進むことを期待したいと思います。富沢湧水では特徴的な湧水の湧く仕組みの見える地層と湧水利用の文化、大坂ふれあいの森では、湧水と斜面林が一体となった貴重植物等が生育できる環境についてご案内しました。初めて見る湧き水や斜面林の様子に先生方は驚いた様子でした。生徒たちの学習に役立てていきたい和光の貴重な環境です。見学後には、大学での教育経験のある勝緒さんの、「答えは一つではない。生徒が自ら考える授業」の話を含め、新任の先生方にふさわしい内容でした。会で作成した「和光の湧き水ワークブック」は講義の時に配布され、使ってもらうことが出来ました。さらに第四小3年生への市内を知る学習、5年生の林間学校のための「校内自然観察会」、中学生対象の「夏休み環境保全ボランティア体験会」など、当会が取り組んでいる環境学習を紹介しました。



今回も早朝の時間を活用した現地見学を取り入れた研修会となりました。学校では大変お忙しい先生方ですが、充実した時間を過ごしていただいたようです。現地の湧水環境を生かす授業に役立てていただければ幸いです。

また会でもご協力できれば幸いです。

